

地方独立行政法人天王寺動物園 ホッキョクグマ舎新築工事

基本設計等業務委託

プロポーザル評価要領

1. 評価要領の位置付け

本要領は、地方独立行政法人天王寺動物園ホッキョクグマ舎新築工事基本設計等業務委託プロポーザル募集要領に基づき、評価点の算出方法及び受託者の選定方法を示すものである。

2. 評価方法及び受託者の選定

- (1) 客観評価、技術提案書評価及び見積書評価を行い、受託候補者を選定する。
- (2) 客観評価は、事務局が参加者の同種・類似業務実績を元に参加者の評価を行う。
- (3) 技術提案書評価は、「地方独立行政法人天王寺動物園 ホッキョクグマ舎新築工事基本設計等業務委託プロポーザル審査委員会」(以下「委員会」という。)が技術提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングにより審査を行う。
- (4) 客観評価、技術提案書評価及び見積評価の評価点合計は下記の通りとする。

評価項目	評価配点	備考
客観評価	30.0 点	
技術提案書評価	240.0 点	60.0 点×委員 4 名
見積書評価	10.0 点	
総合計	280.0 点	

- (5) 委員会は評価点総合計が最も高いものから受託候補者1者、次点候補者1者を選定する。

3. 客観評価

評価項目及び審査内容及び配点基準の詳細は以下のとおりとする。

評価項目	判断基準		配点
参加者の評価	実績	実績の区分、件数について評価する	30.0
		小計	30.0

(1) 参加者の評価方法【30点】

・参加者の同種業務及び類似業務の実績（様式3）（実績の区分及び件数）について評価を行う。3.(2)に該当する業務実績5件を1件当たり基本配点6点として、区分係数を乗じた点数を合計し、最大30.0点として評価する。なお、同種業務又は類似業務の実績が1件以上あること。

① 実績件数と基礎配点

件数	基礎配点
5	6.0

② 同種業務及び類似等業務実績

実績	区分係数
同種業務	1.0
類似業務	0.5

※評価点の計算は下表のとおりとなる。

基礎配点 A	区分係数 B	評価点 $A \times B$	合計
(最大件数 5) 6.0	同種	1.0 (5 件で最大 30.0) 最大評価 6.0	30.0
	類似	0.5	

(2) 同種・類似等業務実績

ア 同種業務

- ・国又は地方公共団体等が発注する工事^{※1}で「獣舎施設」の新築、増築、改築に伴って行われた実施設計業務のうち、平成 23 年 4 月 1 日以降に発注され、本プロポーザルの参加表明書提出日までに完了している業務（全体計画の一部が完了でも可とする。）を対象とする。
- ・ただし、増築の場合は、増築部分のうち当該用途部分の延べ面積が過半以上の場合に限る。

※1 国又は地方公共団体等が発注する工事

- 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成 12 年法律第 127 号）第 2 条第 2 項に定める公共工事

- 公益社団法人日本動物園水族館協会の正会員が発注する工事

イ 類似業務

- ・国又は地方公共団体等が発注する工事^{※2}建築基準法別表 I (い) 欄の(3)に該当する建築物の新築、増築、改築に伴って行われた（用途は問わない）実施設計業務のうち、平成 23 年 4 月 1 日以降に発注され、本プロポーザルの参加表明書提出日までに完了している業務（全体計画の一部が完了でも可とする。）を対象とする。

※2 国又は地方公共団体等が発注する工事

- 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成 12 年法律第 127 号）第 2 条第 2 項に定める公共工事

4. 技術提案書評価

(1) 事前審査

提出された技術提案書は、提案者番号を付した後、付属資料を添えて各委員へ事前に配布する。この際、提案者名を伏した上で、客観評価の資料を添付する。

(2) 技術提案書評価方法

- ア 技術提案書は提案者の名を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本要領に基づいて委員会が評価する。

イ 評価項目及び評価基準、配点は、以下のとおりとする。

(3) 技術提案方法 (テーマ1~3) 【60点×4人】最高240点 (様式6-3)

評価項目	評価基準 (テーマ毎に評価する)	配点
【テーマ1】 参考資料「天王寺動物園(仮称) ホッキョクグマ舎外1件整備に伴う基本計画書(仮称) ホッキョクグマ舎」を踏まえた飼育展示のあり方及び、仮獣舎(キジ舎)の飼育展示のあり方について。	本事業の特徴を踏まえ、生態系を熟知し理解度の高い提案となっているかについて評価する。適格性や実現性があり、業務や与条件に対し、理解度の高い提案となっているか。	①適格性 (与条件との整合性、理解度) ②実現性 (理論的な裏付けに基づく説得力等)
【テーマ2】 技術提案項目(テーマ1)を実現しつつ、市街地に立地する獣舎としての、環境負荷を総合的に低減するための創意工夫と既存獣舎解体の飼育動物への配慮について。		適格性 10.0 実現性 10.0
【テーマ3】 自由提案	当該業務を実施するにあたり提案者のこれまでの知識、経験等から有効と考える設計方策について重要と考えられる新たな視点について	適格性 10.0 実現性 10.0
技術提案に対する委員一人当たり持ち点は60点		240.0

(4) 採点はプレゼンテーション及びヒアリング終了後、各委員が以下の評価水準に基づき評価する。

評価項目	評価水準	評価点
技術提案 (テーマ1~3) の提案に対する評価	具体的な提案の適格性・実現性が極めて良好である。	10.0
	具体的な提案の適格性・実現性が良好である。	8.0
	具体的な提案の適格性・実現性が十分である。	6.0
	具体的な提案の適格性・実現性がやや不十分である。	4.0
	具体的な提案の適格性・実現性が不十分である。	2.0

5. 参考見積書評価方法【10点】(自由書式)

評価項目	評価基準	配点
参考見積書	提出された参考見積書の見積金額(税込)に、次の算出式により評価点を算出する。算出した評価点に端数が生じる場合は、小数点第二位を四捨五入する。 ※A = (最低見積金額／提案見積額) × 10.0	10.0